



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 常磐興産株式会社

上場取引所 東

コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 順一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部担当 (氏名) 藁谷 哲也

TEL 0246-43-0569

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 11,545 | 12.5 | 1,509 | 70.4 | 1,497 | 47.3 | 1,076 | 28.9 |
| 2023年3月期第3四半期 | 10,261 | 35.8 | 885 | | 1,016 | | 834 | |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,360百万円 (21.3%) 2023年3月期第3四半期 1,121百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 122.55 | |
| 2023年3月期第3四半期 | 95.06 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 50,101 | 10,375 | 20.6 |
| 2023年3月期 | 54,181 | 9,016 | 16.6 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,342百万円 2023年3月期 8,979百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2024年3月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,800 | 10.2 | 1,190 | 91.7 | 1,030 | 50.7 | 720 | 11.5 | 81.98 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期3Q | 8,808,778 株 | 2023年3月期 | 8,808,778 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 26,037 株 | 2023年3月期 | 25,759 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期3Q | 8,782,900 株 | 2023年3月期3Q | 8,783,141 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しに加え、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行されたことによる経済活動の活発化により景気は緩やかな回復が続きましたものの、長期化する円安や世界的な金融引き締め、物価上昇等により依然として先行き不透明な状況にて推移いたしました。

観光事業につきましては、9月に発生した記録的な集中豪雨の影響がありましたものの、国内旅行需要の回復等によりスパリゾートハワイアンズの利用者が日帰り・宿泊ともに増加いたしました。

燃料商事事業につきましては、石炭及び石油の販売数量が減少いたしました。製造関連事業につきましては、9月に発生した記録的な集中豪雨の影響を大きく受ける結果となり、また運輸業につきましては運送数量が減少いたしました。アグリ事業につきましては厳しい状況にて推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は115億45百万円（前年同期比12億84百万円、12.5%増）、営業利益は15億9百万円（前年同期比6億23百万円、70.4%増）、経常利益は14億97百万円（前年同期比4億80百万円、47.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億76百万円（前年同期比2億41百万円、28.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[観光事業]

スパリゾートハワイアンズにつきましては、国内における新型コロナウイルス新規感染者数は低減を続け、5月8日から感染症法上の分類が5類に移行したなか、コロナ禍の衛生対策及び制限について適時適切な緩和を図りながら、お客様と従業員、関係者が安心・安全にお過ごしいただける環境を保ち施設運営をまいりました。また、9月に発生した記録的な集中豪雨の影響により電力供給元である変電所が水没したことで、営業するための十分な電力が確保できず9月9日を全館臨時休館とし、9月10日から一部施設（「幼児プール」「流れるプール」「ビッグアロハ」）を休止して営業を再開いたしました（「幼児プール」「流れるプール」は9月23日より再開、「ビッグアロハ」は2024年1月時点において休止中）。

日帰り部門につきましては、夜のポリネシアンショーを4月からリニューアルいたしました。また8月からは昼と夜のポリネシアンショー内のフラダンス体験コーナーを土日祝日から毎日開催へとコロナ禍以前と同じ頻度に戻し、10月には昼のポリネシアンショーの一部をリニューアルし、12月には夕方のショー「ポリネシアン・トワイライトパーティー」を全面リニューアルいたしました。

ゴールデンウィーク期間中には、プール上空での空中ブランコなどスリル溢れるパフォーマンスで構成された「ハッピードリームサーカスinハワイアンズ」を開催し、夏休み期間には、ゴールデンウィーク公演が大好評だったサーカスの兄弟チームによるアクロバットパフォーマンス「ワールド・ドリーム・サーカスinハワイアンズ」を開催いたしました。さらに、冬休み期間には、様々な国で活躍するパフォーマーが集結し世界レベルのパフォーマンスを繰り広げた「超人祭-MATSURI-inハワイアンズ」を開催いたしました。

また、4月には現役学生だけでなくコロナ禍に卒業を迎え学生時に思い出を残すことができなかつた2020年から2022年卒業の方までを対象にした「ハワイアンズタイムスリップ学割キャンペーン」を行いました。夏期には、株式会社マンナンライフのこんにやくゼリー「蒟蒻畑」、株式会社コロプラから配信されているゲームアプリ「白猫プロジェクト」との複数の異業種コラボレーションキャンペーンを行いました。9月にはいわき市と、J2いわきFCのホームスタジアムのネーミングライツパートナー契約を締結し、10月1日より競技施設の愛称を「ハワイアンズスタジアムいわき」と命名いたしました。さらに11月には、11月26日の「いい風呂の日」に因み東日本遊園地協会加盟の温浴5施設との共同イベント企画を開催する等、話題づくりを実施いたしました。

宿泊部門につきましては、一部老朽化した客室の修繕を施し、きめ細やかな受入れ及び安心安全な食のサービス提供を実施するとともに、コロナ禍に始めた「世界最大級の露天風呂『与市』」やポリネシアンショーの貸切プラン等を継続し、6月まで延長となった「全国旅行支援」の利用促進、平日需要に応える「1室定員同一料金」、「連泊割」、「館内利用クーポン券付」など多種多様な旅行プランを提供し続けてまいりました。

利用人員につきましては、記録的な集中豪雨により9月9日を全館臨時休館したものの、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類の5類移行に伴い旅行市場は緩やかに回復し、日帰り部門は733千人（前年同期比153千人、26.5%増）、宿泊部門は283千人（前年同期比51千人、22.3%増）となりました。

スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースにつきましては、記録的な集中豪雨の影響により9月9日から29日までの21日間の営業休止を余儀なくされましたが、9月30日から2コース18ホールで営業を再開し利用人員は24千人（前年同期比5千人、18.5%減）となりました（2024年1月時点において中コース9ホールは休止中）。

グランピング施設マウナヴィレッジは、2022年7月1日に行った拡張リニューアルの1周年を記念したキャンペーン等を行い、利用人員が7千人（前年同期比1千人、18.3%増）となりました。

この結果、当部門の売上高は86億92百万円（前年同期比16億39百万円、23.2%増）、営業利益は22億38百万円（前年同期比10億5百万円、81.5%増）となりました。

[燃料商事事業]

石炭部門につきましては、一般産業向けの販売数量が減少いたしました。石油部門につきましては、一般産業向けの販売数量が増加いたしましたものの、電力会社向けの販売数量が減少し減収となりました。

発電事業につきましてはおおむね堅調に推移いたしましたものの、資材部門につきましては販売数量が減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は4億45百万円（前年同期比2億54百万円、36.4%減）、営業利益は1億81百万円（前年同期比2億68百万円、59.7%減）の減収減益となりました。

[製造関連事業]

建設機械向け鋳鉄製品及び船舶用モーターにつきましては、9月に発生した記録的な集中豪雨の影響により販売数量が減少し減収となりました。

この結果、当部門の売上高は9億65百万円（前年同期比93百万円、8.8%減）、営業損失は20百万円（前年同期は営業利益47百万円）となりました。

[運輸業]

港湾運送部門につきましては、セメント輸送量及び発電所向け石炭輸送量が減少し減収となりました。

石油小売部門につきましては、原油価格は下落に転じたものの、円安に振れたことに加え重油等の販売数量の増加により増収となりました。

この結果、当部門の売上高は13億56百万円（前年同期比27百万円、2.0%減）、営業利益は33百万円（前年同期比6百万円、17.1%減）となりました。

[アグリ事業]

アグリ事業につきましては、大型量販店への年間契約販売が増加し販売単価も改善いたしましたものの、被病や設備不良の発生、夏場の異常気象の影響等により当初の販売計画には及ばず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は85百万円（前年同期比21百万円、33.4%増）、営業損失は1億20百万円（前年同期は営業損失1億35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ40億80百万円減少し、501億1百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有形固定資産が減少したことによるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ54億39百万円減少し、397億25百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、長期借入金、流動負債その他が減少したことによるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億59百万円増加し、103億75百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日発表しております「特別利益の増加及び特別損失の減少並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,910 | 4,713 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,222 | 4,796 |
| 棚卸資産 | 570 | 596 |
| その他 | 141 | 232 |
| 貸倒引当金 | △5 | — |
| 流動資産合計 | 12,839 | 10,338 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 11,591 | 10,511 |
| 土地 | 14,766 | 14,930 |
| その他(純額) | 2,549 | 2,167 |
| 有形固定資産合計 | 28,906 | 27,609 |
| 無形固定資産 | | |
| | 99 | 80 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,805 | 5,874 |
| 投資不動産(純額) | 6,029 | 5,746 |
| 退職給付に係る資産 | 195 | 200 |
| 繰延税金資産 | 43 | 11 |
| その他 | 1,819 | 1,798 |
| 貸倒引当金 | △1,558 | △1,558 |
| 投資その他の資産合計 | 12,335 | 12,072 |
| 固定資産合計 | 41,341 | 39,762 |
| 資産合計 | 54,181 | 50,101 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,108 | 3,949 |
| 短期借入金 | 7,043 | 6,492 |
| 未払法人税等 | 135 | 232 |
| 賞与引当金 | 347 | 105 |
| 災害損失引当金 | — | 184 |
| その他 | 3,696 | 2,478 |
| 流動負債合計 | 17,331 | 13,442 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 23,435 | 22,143 |
| 繰延税金負債 | 2,004 | 1,878 |
| 退職給付に係る負債 | 44 | 43 |
| 資産除去債務 | 535 | 541 |
| その他 | 1,814 | 1,675 |
| 固定負債合計 | 27,834 | 26,283 |
| 負債合計 | 45,165 | 39,725 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,141 | 2,141 |
| 資本剰余金 | 3,395 | 3,395 |
| 利益剰余金 | 2,340 | 3,417 |
| 自己株式 | △39 | △39 |
| 株主資本合計 | 7,838 | 8,913 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,182 | 1,464 |
| 土地再評価差額金 | △2 | △2 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △38 | △34 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,141 | 1,428 |
| 非支配株主持分 | 36 | 33 |
| 純資産合計 | 9,016 | 10,375 |
| 負債純資産合計 | 54,181 | 50,101 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 10,261 | 11,545 |
| 売上原価 | 7,217 | 7,735 |
| 売上総利益 | 3,044 | 3,810 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,158 | 2,300 |
| 営業利益 | 885 | 1,509 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 126 | 199 |
| 持分法による投資利益 | 166 | 38 |
| 不動産賃貸料 | 88 | 87 |
| 助成金収入 | 107 | 53 |
| その他 | 65 | 26 |
| 営業外収益合計 | 555 | 404 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 370 | 359 |
| 不動産賃貸費用 | 40 | 40 |
| その他 | 13 | 18 |
| 営業外費用合計 | 424 | 417 |
| 経常利益 | 1,016 | 1,497 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 5 | 772 |
| 投資不動産売却益 | 0 | 0 |
| その他 | — | 3 |
| 特別利益合計 | 6 | 776 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2 | 0 |
| 減損損失 | 38 | 740 |
| 災害による損失 | — | 368 |
| 投資不動産売却損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 41 | 1,110 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 981 | 1,162 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 129 | 263 |
| 法人税等調整額 | 15 | △173 |
| 法人税等合計 | 144 | 89 |
| 四半期純利益 | 836 | 1,073 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 1 | △3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 834 | 1,076 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 836 | 1,073 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 281 | 282 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | 4 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 285 | 287 |
| 四半期包括利益 | 1,121 | 1,360 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,120 | 1,363 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | △2 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|---------|------------|------------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 観光事業 | 燃料商事 事業 | 製造関連 事業 | 運輸業 | アグリ事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,053 | 699 | 1,059 | 1,384 | 63 | 10,261 | — | 10,261 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 1 | 7 | — | 29 | 2 | 40 | △40 | — |
| 計 | 7,055 | 706 | 1,059 | 1,413 | 66 | 10,302 | △40 | 10,261 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 1,233 | 450 | 47 | 39 | △135 | 1,635 | △749 | 885 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△749百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△750百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

観光事業セグメントにおいて、一部の建物及び構築物に係る減損損失を31百万円計上しております。また、全社資産である投資不動産等に係る減損損失を7百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|---------|------------|------------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 観光事業 | 燃料商事 事業 | 製造関連 事業 | 運輸業 | アグリ事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,692 | 445 | 965 | 1,356 | 85 | 11,545 | — | 11,545 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 1 | 7 | — | 31 | 4 | 45 | △45 | — |
| 計 | 8,694 | 452 | 965 | 1,388 | 89 | 11,591 | △45 | 11,545 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 2,238 | 181 | △20 | 33 | △120 | 2,312 | △802 | 1,509 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△802百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△802百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

観光事業セグメントにおいて、一部の建物及び構築物に係る減損損失を54百万円計上し、アグリ事業セグメントにおいて建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地等に係る減損損失を683百万円計上しております。また、全社資産である投資不動産等に係る減損損失を2百万円計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。